

小学5年

国語

言葉がつくるつながり

あいさつや お礼の 言葉の 働き

自分で 考えて 書きましょう。わからない ときは、QRコードで 動画の 場面を 見よう。

- ① 友だちが 重い 荷物を 運んでいる とき、「手伝おうか？」と 声を かけると、「お礼の 気持ち」「相手を 気づかう 気持ち」「おわびの 気持ち」の どれが 伝わりますか。



動画で 見る
場面 4
「気づかう 言葉」

- ② わかれる ときの「また あした」には、どんな 働きが ありますか。



動画で 見る
場面 2
「あいさつ」

言葉がつくるつながり

あいさつや お礼の 言葉の 働き

- ① 友だちが重い荷物を運んでいるとき、「手伝おうか？」と声をかけると、「お礼の気持ち」「相手を気づかう気持ち」「おわびの気持ち」のどれが伝わりますか。

ヒント 「だいじょうぶ？」と同じなかまの言葉だね。

答え 「相手を気づかう気持ち」です。相手のことを考えてかける言葉は、あなたを大切に思っているよ、という気持ちを伝えます。「お礼の気持ち」は何かをしてもらったときに、「おわびの気持ち」は相手にいやな思いをさせたときに伝える気持ちです。

- ② わかれるときの「またあした」には、どんな働きがありますか。

ヒント あいさつは、何かを知らせるためだけの言葉ではありません。

答え これからもつながりが続いていくことを伝え、相手との関係を続けていく働きがあります。